

令和 8 年度「山梨県介護の魅力 優良介護職員表彰」推薦書

令和 8 年 1 0 月 2 0 日

(1) 推薦者

法人名	社会福祉法人やまなしかいご		
施設・事業所名	介護老人保健施設やまなし		
サービス種類名	介護老人保健施設 ※老人福祉法及び介護保険上の指定を受けているサービス種類名を御記入ください。		
住所（所在地）	〒（ 400 - XXXX ） 山梨県甲府市丸の内 1-6-1		
推薦者	職名 介護主任 氏名 山梨 一郎	印	
所属長以外の者が 推薦する場合 (所属長による確認欄)	上記の者が次のとおり推薦することについて確認しました。 令和 8 年 1 0 月 2 0 日 職名 施設長 氏名 山梨 三郎太 印		

次の者を、「山梨県介護の魅力 優良介護職員表彰」候補者として、関係書類を添えて推薦します。

ふりがな	こうしゅう じろうまる	生年月日	S・H 1 0 年 1 0 月 2 日
氏名	甲州 次郎丸	年齢	2 8 歳
		事業所勤続年数	6 年
		介護職経験年数	8 年

年齢、勤続・経験年数はいずれも推薦時点

(2) 推薦理由・内容等（※推薦書の記載内容も審査対象です。）

介護の質の向上につながる取組	
1. 業務への姿勢・サービスの質の向上に係る顕著な取り組み	日々真摯な姿勢で業務に取り組んでおり、他の職員や利用者やその家族からの信頼も厚い。画一的なケアではなく、利用者からの声に耳を傾け、その人その人にあったケアを実施しようと工夫している。
2. 他の職員の介護技術やチームワーク向上に貢献している	同僚職員の身近な相談相手となって自身が学んできた介護技術を教えているとともに、施設内での委員会や会議において、様々な意見を引き出そうとしている。また施設の所属する協議会が開催する事例発表会においても施設の代表として日々の取組内容を発表した。

介護における専門的な技術（資格）の取得等（該当の番号に○を御記入ください）	
1. 認定介護福祉士を取得	2. 介護福祉士を取得
3. 認定特定行為業務従業者認定証を取得（介護福祉士登録証に医療的ケアの付記がある者を含む）	
4. 介護職員実務者研修（ヘルパー1級）取得	5. 介護職員初任者研修（ヘルパー2級）取得
6. その他介護職員の資質向上に資すると県が認める資格を取得	
研修の受講により介護技術を向上させている（該当の番号に○を御記入ください）	
1. 県が実施する認知症介護実践者等養成事業による研修	
2. 県が実施する高齢者権利擁護等推進事業による研修及び高齢者権利擁護に関する研修	
3. 県及び市町村が実施する介護事業者向けの研修	
4. 山梨県老人福祉施設協議会等団体が実施する介護従事者向けの研修	
5. その他介護職員の資質向上に資すると県が認める介護事業者向けの研修	
リーダーシップ（該当の番号に○を、括弧内に内容を御記入ください）	
1. 協議会等の役職（ ）	
2. 施設・事業所内の役職（ ）	

推薦理由
施設に勤めて5年となるが、施設の中では年齢ではまだ若手だが、利用者にとって最もいいケアをできるように誠実に責任感を持って業務に当たっている。また、その姿勢は従業員・利用者やその家族からも評価されている。 これまでに、介護の仕事を続けていくか悩んでしまったこともあったようだが、「なぜ介護の仕事を始めたのか」「どうしてここまで続けてこられたのか」を見つめ直し「やっぱり続けたい」と気持ちを整理したようだった。それ以降は、より一層真摯な姿勢で業務に取り組んでくれるようになり、今やチームに取ってかけがえのない存在にまで成長してくれた。 まだ、多くの研修の修了実績や資格の取得がある訳ではないが、向上心や目的意識を強く持って過ごしている姿から今後は施設内に限らず、これからの地域の介護を担ってくれる存在になってくれるのではないかという期待も込めてこの度推薦する。

（3）連絡先

担当者氏名	山梨 一郎		
電話番号	055-223-XXXX	FAX 番号	055-223-XXXX
メールアドレス	taro-yamanashi@XXX.XXX.jp		

推薦者と同一である必要はありませんが、不足書類に関する連絡や表彰式の案内等のあて先として使用させていただくため、必ず御記入ください。

(注意事項)

- ・推薦書は推薦者が記入し、別紙「山梨県介護の魅力 作文用紙」は表彰候補者が御記入ください。
- ・「施設等の名称」及び「サービス種別」欄には、表彰候補者が勤務する正確な施設・事業所名を御記入ください。
- ・「施設内の役職」には介護職員としての「役職」を御記入ください。
(例) 介護長、介護主任、ユニットリーダー等
※相談員等を兼務していても、介護職員としての役職には該当しません。
- ・「介護における専門的な技術の取得等」欄の該当する項目に○をした場合は、資格の取得及び研修の受講が確認できる書類の写しを根拠書類として添付してください。添付資料がない場合は評価対象となりません。
- ・研修の受講が確認できる書類の写しについて、修了証等がない場合は、研修出席名簿、研修プログラムの写しを根拠書類として添付してください。
- ・根拠書類を添付する場合は、どの項目の確認書類か分かるように添付資料一覧(参考様式1)を作成し、推薦書と合わせて御提出ください。
- ・「介護における専門的な技術の取得等」欄の項目は書き換えないよう御注意ください。
- ・「介護における専門的な技術の取得等」欄は、令和8年度修了見込みの場合は得点として反映できません。令和7年度末(令和8年3月31日)までの修了者が対象です。
- ・「研修の受講により介護技術を向上させている」について、例えば、認知症介護実践研修(実践者研修)と認知症介護基礎研修の写しを御提出いただいた場合は、いずれか一方のみが得点として反映されます。この事例の場合は、上位の認知症介護実践研修(実践者研修)のみが得点として反映されます。
- ・介護支援専門員証と介護支援専門員研修の修了証明書を提出した場合は、資格と研修それぞれの項目の得点として反映されます。

(参考)

- ・介護の質の向上につながる取組の具体例
 - ①業務への姿勢・サービスの質の向上に係る顕著な取り組み
(例1) 他の職員の手本となる姿勢で業務に取り組んでいる。
(例2) 利用者の状況に応じて効果的なケアを検討、提供している。
 - ②他の職員の介護技術やチームワーク向上に貢献している
(例1) 各種団体における事例発表や施設、事業所内の研修会で発表・講師をしている。
(例2) 後輩職員や同僚の身近な相談相手となり計画的な指導を行っている。

※上記はあくまで参考例であり同等と認められるような取り組みも評価対象です。

可能な限り表彰候補者の姿勢や日々の姿が見えるような具体的な取り組みを御記入ください。